

## Juniata College, the English for Academic Purposes program

### ジュニアタ・カレッジ, イングリッシュ・アカデミックプログラム

ジュニアタ・カレッジのイングリッシュ・アカデミックプログラムは、大学進学への準備に向けて、学問的またはビジネスなどの専門的分野での実用的な英語力を身につけることを目標としています。クラスは少人数制を採用しており、経験豊富な教授やスタッフからきめ細やかな指導を受けられます。ジュニアタ・カレッジは、自然に囲まれた美しいキャンパスに最新設備が整っており、親しみやすくアットホームな雰囲気の特徴です。

#### ペンシルバニア州ハンティングドンとはどんなところなの？

ジュニアタ・カレッジは、ペンシルバニア州の中央にあるアレゲーニー山脈からなる美しい山々に囲まれた小さな町ハンティングドンにあります。静かで落ち着いたところなので、安全安心して暮らすことができます。また、ジュニアタ・カレッジは利便性の高い場所にあります。ピッツバーグ、ワシントンDCやボルティモアといった大都市へは車で2～3時間。最寄りの空港であるステート・カレッジ空港までは車で1時間。また、アムトラック鉄道の駅もあり、フィラデルフィアやピッツバーグ、ニューヨークにも列車でもアクセスできます。

#### なぜジュニアタ・カレッジは英語学習に最適なの？

##### きめ細かな個人指導

ジュニアタ・カレッジのイングリッシュ・アカデミックプログラムは、1クラスにつき生徒が平均6人と少人数編成のため、一人ひとりへのきめ細かな指導が行き届いています。教授やスタッフはみな親切で、フレンドリーで、キャンパスや地元にも慣れ親しんでいます。その豊富な経験を活かし、学生に対して学習内容だけではなく、学校生活全般についても的確なアドバイスを与えることができます。教授やスタッフ、他の学生と個人的にも親しくなり、一生継続く友好関係を築くことができます。

##### 高水準の教育

ジュニアタ・カレッジの教授はみな経験豊かで第2言語としての英語を教えるための資格を取得しています。ほとんどの教授は外国に住んで、働いていた経験があるため、アメリカにやって来る留学生の経験や悩みもよく理解しています。また、我が校のプログラムは英語教育の水準向上を促進する組織であるAAIEP (American Association of Intensive English Program)から高評価と認可を受けています。

## 友好的なコミュニティー

イングリッシュ・アカデミックプログラムは、ペンシルバニア州の小さな町にあるモダンなキャンパスの一角にあるオーラル国際教育センターで行われます。ジュニアタ・カレッジでは、アメリカ各州、そして世界 36 カ国からの留学生と一緒に学んでいます。そのためアメリカ人の学生や町の人々は留学生にとっても親切であり、授業だけでなく、日常生活でも彼らと生活を共にし、英語力のより一層の向上を出来ます。イングリッシュ・アカデミックプログラムの参加者はジュニアタ・カレッジの学生という待遇を受けるので、学内のどの施設も利用可能で、イベントやクラブ活動に参加することができます。ジュニアタ・カレッジにいる全員がフレンドリーで他の国の人々や文化に親しむことをとても楽しみにしています。

## 英語集中プログラムで何を学ぶの？

ジュニアタ・カレッジのイングリッシュ・アカデミックプログラムでは、学期前のオリエンテーション期間中にテストを実施しています。その結果と個人面接をもとに各生徒のレベルに応じてクラス分けをしていきます。レベルは3段階に分かれており、中級、上級とプロフェッショナルからなる3つのクラスを用意しています。初心者レベルのクラスはないので、中級レベル以上であることが入学条件となります。

このプログラムでは、教室内外問わずプロジェクト、アンケート調査、そしてアメリカ人とのインタビューなどを通して実用的な英語を学びます。授業は週に20～25時間あり、実際の語学力の向上と日常生活で英語を使うことへの自信をつけていくことを重視します。このプログラムの主なポイントを挙げてみましょう。

- ・ 留学生やアメリカ人学生とのディスカッションや地元住民とのインタビューを通しての会話能力の向上
- ・ 実際の大学の講義での聴解力と理解力の強化
- ・ 大学レベルのライティングとリサーチの方法、能力の習得
- ・ 語彙力の増加とリーディングスピードの向上
- ・ 専門的、学問的場面での英語を使用することに対する自信をつける
- ・ コンピューターを使った指導
- ・ アメリカ文化に触れ、アメリカの大学生活を体験する

ジュニアタ・カレッジのイングリッシュ・アカデミックプログラムに興味を示していただいて、ありがとうございます。